

① 創刊号 — 昭和48年(1973年)2月 ……バックナンバー切れ
第9号 — 昭和49年(1974年)5月

② 第100号 — 昭和57年(1982年)12月

昭和49年5月 第9号

ヨコハマ 日曜発明教室 ニュース

(会 場)	(事 務 局)
神奈川県中小企業会館5F 横浜市中区尾上町国電桜木町5分 毎月第2日曜日、午後1時～5時	横浜発明懇話会 横浜市中区日本大通11丁231 TEL 045-201-2725

発表作品展示会の結果
昭和48年度最優秀作品決まる!!
5月12日才69回日曜発明教室で
票記展示会を行いました。
10名の方々から19点の出品があり、
出席者43名で慎重に審査し、
投票の結果次の入賞決定しました。

昭和48年度
最優秀賞 ワンタッチ紙ばさみ
石井一市
優 秀 賞 長短兼用スイッチ具
佐々木 茂
優 良 賞 隅のたけける縄たき
石井一市

入賞された方々には、それぞれ額を
贈呈いたしました。

(反省)4月の教室の緊急に決まり
実施したので準備不足と、PRもた
りず又、展示効果も悪かつたと思
います。

この催しは、毎年実施し、更に盛
上げて行きたいと考えて居りよいア
イディアをお寄せ下さい。

§ 下記の方が新に世話人になりま
した。

三 谷 祐
中区北方1-74
(621)3905

ご注意!! 教室開催方法の変更
ニュース 才8号でお知らせしたとおり
教室開催時間が次のようになりました。

(1)発明相談 午後1時～2時
発明相談を受けたい方はこの時間ま
でにおいで下さい。

(2)当日、発表作品の展示
作品発表をされる方は、午後1時～
展示場所に作品を展示して下さい。

(3)作品の発表 午後2時～4時

(4)自由対談 (新材料紹介,その他)
午後4時～5時、
短い貴重な時間を有効につかうため、
出席される方も、発表される方も時間
をお守り下さい。

横浜発明懇話会に入会を!!
5月23日、49年度総会を終り
新規会員を募集して居ります。
個人会費 年貢 2,000円 入会金
法人会費 " 5,000円 500円

諸事業に参加、情報資料の送付の他に
次の特点があります。

日曜発明教室、会費無料、同ニュース
送付無料、
別紙案内一読の上、ご入会下さい。

あなたの会社で採用できるものがありましたら 事務局へ ☎

昭和57年12月 第100号

横浜発明振興会 ニュース

(題字) 中本 守 書

優秀な発明品の創造と企業化の途を
開くため次の事業を行っています。
○懇談会、研究会、講演会、見学会の開催
○日曜発明教室(毎月第2)の開催
○試作・工業化のあっせん。 ○発明相談

事 務 局
横浜市中区日本大通15番地
〒231 (横浜朝日会館6階)
☎ 045-681-5586
振替口座 横浜 3310

発明研究会のお知らせ

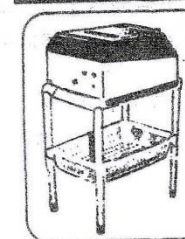
去る10月横浜産貿ホールで開催し
た神奈川県発明考案展覧会において、
本会から多くの入賞者がありました
が本会々長賞の贈呈がきまりました白田
達郎さんから発明体験(失敗・成功)
談を聞く研究会を次のとおり開催いた
します。

当日は、第172回日曜発明教室を
研究会に引続いて開催いたします。

「作品発表申込はお早めに」
皆様から申込まれた作品発表申込書
は、コピーしてアイデアブックとして
当日出席者に配布いたします。
事務処理上、少くとも7日前位に事
務局へご送付下さい。

1. と き 12月12日(日)
午後1時～2時
2. と ころ 横浜朝日会館6階ホール
(日曜発明教室会場)
3. テーマ 「マルチ自動包装機」の
発明を中心とした今まで
の成功・失敗体験談
4. 発表者 シロタ研究室
白田達郎氏
5. 会 費 会員無料、一般¥500
6. スケジュール
13.00～14.00 研究会
14.00～15.30 作品発表・投票
15.30～17.00 基礎・電気・機械
の物理学講座

マルチ自動包装機



Xシリーズ 標準型
(別台はオプションとなります)

外形寸法	W 300×L 450×H 220
箱 量	13kg
能 力	1200/毎時
電 源	AC 100V 50/60Hz
電 力 需	250W 3A 専動中
電源ヒューズ	4段切替

※仕様により差異があります

使用目的
機械部品、電気部品、洋食器、建家具金物
食料品、衣料品、箱入商品、其の他の包装

上部投入口から品物を入れると、自動的に包装されて下部
出口より落下します。異材フィルムはロール状で約500
米が内蔵され、特殊な一本掛けで交換セットが極めて容易
にできます。生産用向の高速型も可能です。両型共包装内
容物品に応じて仕様設計を致します。

創刊は、昭和48年(1973年)で、当会の創立 =昭和36年(1961年) = から12年後でした。
したがって本誌は、創刊から実に43年の(会は創立から55年の)長きに亘り継続してまいりました。
会誌タイトルは、「ヨコハマ日曜発明教室ニュース」で、会の名称も「横浜発明懇話会」と
名乗っていました。「日曜発明教室」は、会の創立から7年後の43年(1968年)9月に発足し、
それから5年後に「ニュース」が発行されました。
第9号には、49年5月の「第69回教室」の開催について報告があり、この回は、「第1回コン
クール(48年度)」であり、その結果が掲載されております。
会の事務局は、中区関内の「商工奨励館」のビルの一室を借りていました。

会誌タイトルは、「横浜発明振興会ニュース」で、
会の名称も 横浜発明懇話会から 現在の「横浜発明振興会」に変更しております
(会名称の変更: 56年4月)。事務所は 朝日会館。